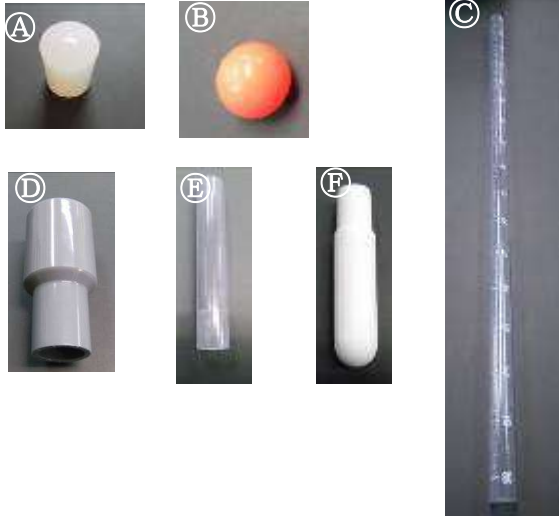


土壌水分目視計 組立方法

型番：NF-26L/NF-20S 組立セット共通

土壌水分目視計 組立セット

①シリコン栓、②スーパーボール、③太パイプ（目盛シール同封）、④異径ソケット、⑤パイプ（小）、⑥ポラスカップ



ご用意いただく物

塩ビ用接着剤



作業上の注意点.

- ポラスカップは落としたりぶつかけたりしますと割れて使用できなくなります。
- 接着剤をご使用の際は、取り扱い説明書を良くお読みになり、**換気**にご注意下さい。

手順

1.ポラスカップの径の細い方に塩ビ用接着剤をまんべんなく塗ります。



2.手早く、塩ビパイプ小の肉の薄い方に⑥を押し込みます。**※塩ビパイプを加熱して広げる必要はありません。**



3.ポラスカップを奥まで挿入したら、回転させて接着剤をまんべんなく広げてください。ポラスカップを下にして乾燥させてください



4.塩ビ用接着剤で異径ソケットと3.を繋ぎ、同様に太パイプの目盛りが大きい方と繋がります。



※目盛りシールは組み立てる前でもあとからでも貼れます。シールを貼る際はシールの目盛の0側の剥離紙を一部だけ剥がし、シールの端とパイプの端を合わせて、真っ直ぐに貼って下さい。



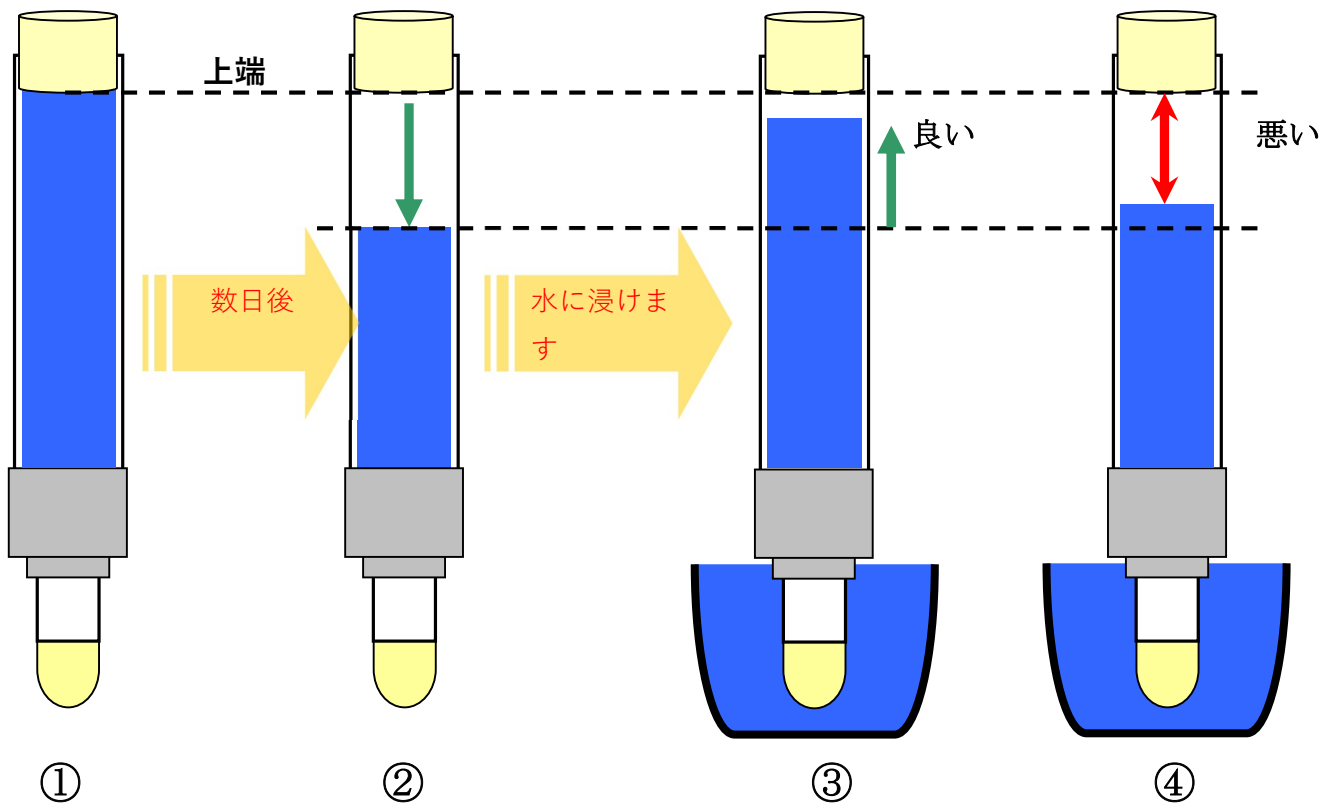
5.スーパーボールを入れ、シリコン栓で栓をして完了です。



自作した土壌水分目視計がうまく作れたかをチェックする方法は？

パイプに水をいっぱいまで入れてシリコン栓をします。シリコン栓は目盛りの「0」の位置に来るまで深く確実に押し込んでください（①）。この状態で雨が当たらず、風通しの良い場所に4～5日立てかけておきます（②）。

その後、ポラスカップ部分が全部水に浸かるように水に浸けます。ポラスカップを割らないように気をつけてください。水位が上昇し目盛りの5cmより上になれば問題ありません（③）。もし下であれば、空気が漏れている可能性があります（④）。その場合はシリコン栓がしっかり閉まっているか、接着不良がないか、ポラスカップが破損していないかなどご確認ください。



株式会社 藤原製作所